

ぶらり散歩 「鈴川のオシドリ」

(2024. 3)

鈴川の流れの中ほどに中州と呼ばれる、土砂の堆積部分があります。流れに囲まれた中州上は自然の要害として、野鳥たちの餌場となっているようです。鈴川は、野鳥の種、数も多く「野鳥の宝庫」と言われます。毎年、公民館主催の野鳥観察会が行われています。

堤防の左岸上は、伊勢原方面へ向かうバス道路となっています。

最近、この付近に「オシドリ」の雄鳥一匹が観察されています。





オシドリは、中州や河原の緑の葉を、ついでみ餌にしています。



仲間も増えたのでしょうか、お互いに争うこともなく、仲良く見えます。



気難し屋の「ゴイサギ」とも争いません。



東橋下、水面にのんびりと体を休めています。



「オシドリ」が鈴川に生息している訳は不明です。そのうえ、雄鳥が一匹のみです。

「オシドリ」は東アジアに生息、分布し、日本では北海道や本州中部以北で繁殖し、冬になると本州の南部、主に西日本に南下し、越冬するようです。季節毎に移動する距離が短い生息域をもっています。渡り鳥ではありません。

鈴川の「オシドリ」ですが、
鈴川が、西日本へ移動する事のないような温暖な気候なのでしょうか？
羽を痛め、飛ぶことに不都合なのか？ とも指摘されています。

鈴川では「オシドリ」見たよ。「カワセミ」見たよ。が 合言葉になって、言葉が交わされ、可愛がられています。

いつ頃まで、出会いが続くのでしょうか？ 楽しみです。